

Information of Kagamifuchi

2024. 12. 13 新潟市立鏡淵小学校

12月2日 全校朝会 校長講話より

「どんどん祭り（児童会行事）」を振り返って

11月下旬に学校に来られたお客さんが、「鏡淵小学校の皆さんのあいさつって、とても気持ちがいいですね」「お子さんたちから、先にあいさつをしてくれるので、とっても嬉しいです」と、皆さんのことをたくさん誉めてくださっていました。

先週の「どんどん祭り」でも、来校された方々に進んであいさつをしたり、丁寧な言葉遣いで接したりしている様子があちこちで見られ、「鏡淵小の子どもたちって、すばらしいなあ」と思っていました。「どんどん祭り」の時の写真を、先生たちがさっそく玄関ホールの掲示板に貼ってくださっていますね。これからのお話の中でも、お祭りのこと、お祭りまでのことなどを振り返ってみたいと思います。



（1年生「開会宣言」を含むオープニングの様子、特別支援学級1・2・3組合同の出店、そして2年生以上の出店の写真を提示）

たくさんの友達、そして、地域の人たちとも笑顔で言葉を交わす姿があちこちにありました。参加された方々も、「子どもたちの工夫や頑張りを見ることができてよかったです」「参加できて嬉しかったです」と、とても喜んでおられました。

（招待した白山保育園年長の園児、就労センター白山浦の皆さんとの交流の様子、学校運営協議会委員の方々との交流の様子を提示）

当日に向けた準備では、どの学年、学級も頑張っていましたね。お昼の放送で全校に呼びかけたり、様々なリハーサルに取り組んだりする姿からも、皆さんの気持ちの高まりを感じました。

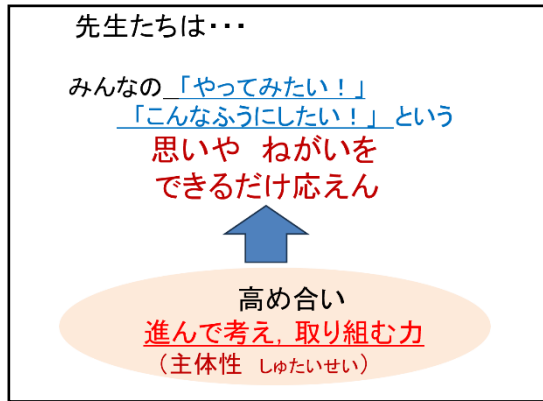
毎日の授業もそうですが、学校の行事についても、先生たちは、「皆さんに、こんなことができるようになってほしいな」「こんな力をつけてほしいな」という思いをもっています。

今年の「どんどん祭り」では…

- ① 一人一人が進んで計画づくりや準備、当日の仕事に取り組んでほしい。
- ② 学級の友達、他の学年の友達、普段の学習・活動でお世話になっている人たちと、たくさん関わってほしい。
- ③ 友達の「頑張り、よさ」をたくさん見つけていってほしい。そして、友達と協力し合い、最後までやり抜いてほしい。

お店づくりの準備が始まる前、皆さんは、「どんなお店にするか」「どんな工夫をするか」「どんな役割分担にするか」などを考え、いっぱい話し合ってきたはずですよ。

そんなとき、「みんなの考えがなかなかまとまらない」「やりたいことがたくさんあって決められない」、そんなこともあったのではないのでしょうか。「何から決めていけばいいのかな…」「どこから考えればいいのかな…」「なんか、うまく進まないな…」といった気持ちになったこともあったと思います。



お祭りに向けた話し合いや準備のとき、先生は皆さんの思いや考えを聞いて、自分たちの力で取り組んでいけるよう見守り、困ったときにはアドバイスやサポートをしてくださったと思います。

皆さんが、いろいろな活動を通して少しずつ、「進んで考え、取り組む力」を高めていくことを願っているからです。

一人一人の力を合わせ、つくり上げていく児童会行事では、次のようなことが大切だと思います。

【準備のとき】

一人一人がよく考える。しっかり話し合う。
決まったことには、みんなで協力する。
困ったときには先生に相談し、みんなでまた考えてみる。
そして、やってみる。

【本番当日】

自分の役割をしっかりと果たす。
学級・学年・全校のみんなで、その時間を大切に過ごす。

【終わった後】

自分と友達の頑張りをじっくりと振り返る。

さっきも少し話しましたが、一生懸命に話し合い、準備をしても、なかなか思うようにいかないこともあります。練習ではうまくできていたのに、本番で失敗したりすることもあると思います。

先生たちは、皆さんがたとえ失敗をしても、そこから学ぶことはたくさんあると思っています。

失敗したっていいんです。「失敗したからだめだった」ではなく、「今度はどうすればいいのかな」と考えていくことは、皆さんが成長していく上でとても大切です。先生たちは、そのことも含め、これからも皆さんのことを応援していきますよ。